

| | | | | |
|-----------|-----------------|--|--|--|
| 法人（事業所）理念 | | 1、小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します 2、どんな明るい笑顔と挨拶を欠かしません 3、安心・安全な環境づくりに努めます | | |
| 支援方針 | | 1, 社会経験（外出活動） 2, 製作 3, 身辺自立 | | |
| 支援時間 | | 学校休業日 学校休業日 | 下校時 10 時 00 分から 17 時 30 分まで 16 時 00 分まで | 送迎実施の有無 あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 社会経験：個別、集団活動等様々な遊びや体験を通して体を動かし、生活リズムを整えます。 製作：発達段階に応じて、スモールステップを設定し、「できた」等の成功体験を増やして、自己肯定感を高めていきます。 身辺自立：基本的な生活リズムの獲得を目指し、1日の流れを絵カード等を見て、自身で行動できるように支援します。 | | |
| | 運動・感覚 | 社会経験：五感を通して、外界からの刺激を感じ取り、感覚情報をうまく処理し、統合する能力を育みます。 製作：微細運動を行うことで、基本的な「感覚」を楽しみながら自身で感じられるように支援します。 身辺自立：日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動、動作の改善、及び強化を図ります。 | | |
| | 認知・行動 | 社会経験：個別・集団生活を通して、社会のルール、季節の変化等を学んでいきます。 製作：様々な物を使用し、物の形や色、間食などを認知する機能の発達を促します。 身辺自立：療育の日を設け、日常生活に必要なトイレの自立、時計、お金等が定着できるよう支援します。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | 社会生活：体験した活動を自ら「伝えたい」「発信したい」と思えるように支援します。 製作：特性を考慮し、具体的な体験や意味の理解ができるように視覚的支援を用いて内容が理解できるように支援します。 身辺自立：言語的コミュニケーションが図れるご利用者様に対しては、正しい言葉の理解と活用方法を場面に応じて伝え支援します。 非言語的コミュニケーションが図れるご利用者様に対しては、場面に応じた絵カード、マカトンサイン等を使用し支援します。 | | |
| | 人間関係 社会性 | 社会経験：活動前に絵カード等を使用し、1日の流れを伝えることにより見通しを持てるように支援します。 製作：できる、できない等の自身の特性を理解し、気持ちや感情の調整ができるように支援します。 身辺自立：集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。 | | |
| 家族支援 | | 連絡帳、送迎時の会話等で情報を共有すると共に、必要に応じて面談をする場を設けてご家族の不安やお困りごとへの相談援助を行います。 | 移行支援 | 進学、就労、環境変化へ向けての課題提示及び実践を行います。 |
| 地域支援・地域連携 | | 市役所主催の障がい者スポーツ大会等のイベントに参加し、市役所や他の事業所と連携を取りやすくします。 | 職員の質の向上 | 外部研修及び社内研修、事業所内研修の実施。 日々の職員間の情報共有やすり合わせを行っています。 |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日会 ・土曜日、長期休暇時の遠足、食育活動（調理）、工場見学 ・こどもの日、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、節分等の季節の行事 | | |